

# 柳川

# 研心

主催 委員会 平成27年度

愛知県知的障害者福祉協会

慌しく過ぎ去っていく毎日、その瞬間を、ふと立ち止まって振り返ってみると、無意識だった自分自身の支援スタイルやご利用者へのまなざしに気づかされます。それは同時に、彼らの心の中に想いを馳せることへの意識にもつながっていきます。

わずか五七五の短い文字の中に凝縮された、現場スタッフの更なる**権利擁護意識**の向上を目指していこうという想いを、この作品集から感じとっていただければ幸いです。

平成28年2月

平成27年度 愛知県知的障害者福祉協会

権利擁護委員会

追分伸夫(ペにしだの家)、鎌田博幸(田原授産所)、橋口磨理子(ペガサスII)、末田友子(ゆたか通勤寮)  
深谷和香(まどか)、高嶋茂久(サポートセンター being 小本)、村崎正明(サポートくすの木)



平成27年度 権利擁護委員会  
スタッフ川柳 優秀作品

まどか 三宅 徹  
よくみてよ わるいところより よいところ

田原授産所 森下 志保  
評価表 利用者だって 付けている

かこ 平塚 夢見  
振り返る 私の支援 大丈夫？

第一Youen 鶴飼 直美  
支援者も 時には泣きたい 痛すぎて

まゆ 吉田 美咲  
やりがいは 笑顔にすること されること

愛厚藤川の里 鈴木 斐佳  
ゆとりもっ 心が皆を 穏やかに

べにしだの家 追分 伸夫  
経験が 足を引っ張り 勘違い

平成27年度権利擁護セミナーに参加された皆様から、日常の支援を通して感じていらっしゃるさまざまな権利擁護にかかわる想いを川柳に託していただきました。優秀作品は、応募全作品をセミナー参加者の互選により、得票数の多い順に選考しました。

あいさつを 明るくかわす この職場	伝えたい あなたの笑顔の 下の <sup>そ</sup> 声を	当然と 思う気持ちを かえていい
まず笑顔 それだけで変わる 場の空気	立ち止まり 一息ついて 考える	困難な ケースの時ほど チーム力
よき支援 その人らしさを 大切に	擁護され 未来に確かな 安心感	満面の 笑みからもう 援助力
人の手を 差し伸べさせる その笑顔	完全を 促し自分は 残してる	“待つ支援” どんな支援より 難しい
見回り時 寝顔を見ると ほっとする	ありのまま あなたのことを 受け入れる	わたしにも 出来ることがあるんだよ
本当に 困っているの 誰だろう	「待ってね」 つい口にして はっとする	立ち止まり 目を見てあいさつ 心がけ
言葉遣い 慣れても荒く ならぬよう	自己判断 気づけばそこに 事故の影	福祉とは 「学び」を止めない その姿勢
情熱に “拘束”されて 引くをせず	あらためて 「さん」を付ければ 照れ笑い	やりがいを 感じていたい いつまでも
何年か 初心を忘れず 頑張ろう	良い支援 やろうしても 空回り	からかいも 程度を過ぎると 虐待よ
友達と 思っても 分別を	まいにちを 笑顔忘れず 生き生きと	困りごと 考え方で 支援案
初めとは 真逆だよ 顔つきが	本人の ためだと嘘を 仄 <sup>ほ</sup> めかす	愛称と 書きはするけど 呼んじやダメ
曖昧な 言い方態度 <small>あいまいな 「愛無いな」「あ、いないな」</small>	忘れずに 親しい中に 礼儀あり	はっとして 悩んだときは ほうれんそう
幸せな 時をつくろう 一緒にね	見直そう その言葉掛け いいのかな	ありがとう 言われて嬉しい その言葉
さしあげる 所でところ ここちいい	観て知って 関わりながら 支援生む	長い目で 見ればいつか 育つかな
今日もまた あなたの笑顔に いやされる	「偉かったね～」 ほめる言葉も 気を使う	親子関係 微妙な感じも 踏み込めない
確かめよう 独りじゃないって みんないる	“虐待”と 言われて初めて ハッとする	職員の 気持ちが強くとまらぬ
他害止め 利用者まもり けがだらけ	利用者の 笑顔を増やす 難しさ	やっやだめ! そう言う前に 考えて
ありがとう いつもニコニコ ありがとう	支援者の <small>みんな</small> 皆の 一歩 100万カ!!	通じ合う 目と目で分かる 関係を
利用者より 保護者の意見 聞き入れる	その支援 彼女の希望? あなたの都合?	こっち見て! 声なき訴え 気がついて
縁あって あなたの側で 支援する	たくさんの 笑顔が増える お手伝い	よく聞こう ほんとの気持ち じっくりと
その支援 誰が望んで 何の為	一番の 虐待防止は 良い支援	利用者として 自分は同じ 人だよね
感情を 静めるコツは 深呼吸	知的障害者 人間として生きる 自己決定	知的障害 思いをくみとり 代弁する
高齢者(障害者) 支援を怠るな 虐待防止	この子らの 人生背負いた(負いた) 親も見よ	真心は 必ず届く ゆっくりと
焦るのは 本当はどっち 私かな	出来ること つぶしてないか 職員が	ここまですと 誰が決めたの まだできる
耳澄ませ 心の声と 訴えを	虐待と 知らずに支援 苦笑い	おもいやる 言葉と心 優しい手
こだわりカバン 夢と希望が パンパンだ	いつだって おてんとうさま みているよ	職員の 支援計画 作るべき?
職員の 心は広いぞ 無限大	怒るより 笑って支援 素敵でしょ	思い込み そんな支援が 重いのに
利用者の ペース合わせて 話そうよ		